

2学期終業式「大きな夢を持って！」

皆さん、おはようございます。今年もあと一週間となりました。令和3年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか。今年も4月の新学期から新型コロナの話題には事欠きませんでした。夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。そして2学期になり、家島高校は今日まで登校日は78日間有りました。5ヶ月という長い学期でした。この間、学校行事では9月の海洋訓練や海洋スポーツ大会、10月の地域合同避難訓練、11月の修学旅行、芸術鑑賞会、地域合同交通安全教室、家高祭、12月の球技大会など多くの学校行事に皆さんは頑張ってきました。部活動でも新人大会など新たな活躍で、表彰を受けた生徒がたくさん出ました。新型コロナの感染状況は、今は落ち着いていますが、新たなオミクロン株の出現もあり、引続きこの年末年始に感染予防の徹底をお願いします。

さて、今日は「宇宙なう」と宇宙からTwitterに投稿した人の話です。だれでしょう？ そうです。日本の民間人として初めてISS（国際宇宙ステーション）に滞在した前澤友作さんのお話です。

前澤さんは皆さんよく知っている人もあると思いますが、ファッション通販サイト「ZOZOTOWN」等を立ち上げた実業家です。Twitter上でお年玉キャンペーン「100万円を1000人にプレゼントします！」等を開催してお金配りをしたり、また、地元の千葉に災害支援活動を行ったりと話題に事欠かない人です。

そんな前澤さんが、この度、日本の民間人として初めてロシアのソユーズMS-20を使ってISSに12日間滞在し、世界中から募集した「宇宙でやってほしい100のこと」を実施して、その模様をユウチューブで配信しました。

もちろんこのISSでの滞在等には何十億円という多額の費用がかかっていますが、すべて前澤さん本人が支出しています。

この話を聞いて皆さんはどう思ったでしょうか。お金があれば自由に宇宙にいける時代になった。夢は叶うと教えてもらった。自分で稼いだお金なので自由に使ったら良い。そのお金をもっと違うことに使ってほしかった。また前澤が世の中の気を引くことをやった。等々……。

実は、前澤さんはこの宇宙旅行を実現させるのに宇宙飛行士並みの約100日間

の厳しい訓練と言語学習を積んでいます。何より、命をかけてこの宇宙旅行を実現させました。安全技術が進んでいるとは言え、飛行機等に乗るのとでは格段に危険度が高い旅行です。単にお金があれば参加できるものではありません。何よりも本人の勇気と決断力、体力が必要だったと思います。

皆さんは、今、高校生でこれからは果てしない可能性を秘めています。前澤さんも実業家として最初から成功したのではなく、高校時代にバイトをしたお金で、卒業後アメリカに渡り、帰国後事業を立ち上げ、何度も失敗を繰り返しながら現在の地位を築きました。

このことから、皆さんに3つお願いしたいと思います。

- 1 大きな夢を持って、チャレンジ精神を忘れずに、目標を持って過ごしてほしい。「夢は叶う」と信じて・・・。
- 2 友人、家族、先生等にいろいろ話を聞いて情報を取り入れて学んでほしい。
- 3 チャレンジしても失敗することの方が多いが、くじけずに頑張してほしい。

皆さんの高校時代は、新型コロナだけでなく、東京オリンピック・パラリンピックが開催された年、日本の民間人が初めて宇宙旅行に行った年として記憶に残る年となったと思います。

今年の冬休みは曜日の関係で少し長めになります。1月11日の始業式に元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。